

スピントロニクス・マグネティクスによる 微弱生体信号計測技術の進展

Progress of the feeble biological signal measurement
technique by spintronics and magnetics

2023年 3月 18日 (土) 13:30 ~ ハイブリッド開催予定

近年、様々なタイプの磁気センサの高感度化が進んでおり、微弱な生体磁場信号が高精度に検出可能になっています。本シンポジウムでは各種磁気センサの開発において世界的な第一人者の先生方に最近の技術の進展についてご講演いただきます。

【プログラム (招待講演者分)】 講演者 / 講演題目 (敬称略、仮題)

大兼 幹彦 (東北大)

TMRセンサによる生体磁場計測の進展

荒井 慧悟 (東工大)

ダイヤモンド量子イメージングによる心磁計測

千葉 大地 (大阪大)

フレキシブル磁気抵抗素子による生体力学情報センシング

藪上 信 (東北大)

磁気センサによる微生物検出

足立 善昭 (金沢工大)

神経磁場計測システム

伊藤 陽介 (京都大)

光ポンピング磁気センサの生体磁場計測への応用